

安曇野屋敷林フォーラム2017

平成29年3月25日(土) 安曇野市役所本庁舎4階参加無料
 ■パネル展示 安曇野市庁舎1階(平成29年3月13日(土)~25日(土))



佐々木 邦博 氏

信州大学農学部教授(造園学)
 1954年 宮城県生まれ
 1979年 京都大学文学部卒業
 1984~85年 パリ第8大学都市計画科留学
 1985年 京都大学大学院農学研究所博士課程単位取得退学
 1992年 京都大学博士(農学)
 1985年 信州大学農学部助手
 1991年 信州大学農学部講師
 1993年 信州大学農学部助教授
 1998年 信州大学農学部教授 現在に至る

著書:「農林業がつくる地域環境と保全技術」、
 「飯山小菅の地域文化」、「庭園史をあるく」、
 「ランドスケープ遺産百選 中部編」(いずれも共著)など
 論文:「長野市松代町の城下町絵図に見られる水路システムの特徴」、
 「長野市の松代城下町の庭園群を支えている水路網の近年の変化」、
 「高遠城の庭園」など

■プログラム

受付開始 13:00~
 開 会 13:30
 基調講演 13:45~14:30
 「緑の基本計画を広げるために」
 講師 佐々木 邦博 氏
 緑の基本計画・屋敷林 概要説明 14:30~15:00
 安曇野市都市計画課
 休 憩 15:00~15:10
 パネルディスカッション 15:10~16:45
 テーマ: 緑に対する市民の使命
 (コーディネーター)
 宮崎 宗徳(プロジェクト副リーダー)
 (パネリスト)
 出村 忍(砺波市カイノ倶楽部会長)
 関口 道美(武蔵野市緑のまち推進課長)
 西沢 剛(安曇野市都市計画課長)
 場々 洋介(プロジェクトリーダー)
 閉 会 17:00

緑の基本計画を広げるために

これはどんな方向性をめざしているのか

安曇野に残る屋敷林をとおして、未来の生活を考えませんか。安曇野の屋敷林の保全は、歴史的景観や安曇野のシンボルと市民のプライドの継承でもあります。屋敷林とは屋敷の周囲に意図的に植えられた樹木群です。先人はこの屋敷林を目的をもってつくりました。まさに屋敷林は生活に密着していたのです。今年には市民参加の審議会を経て2年がかりで緑の基本計画が策定中です。基調講演では、この審議会の座長を務められている信州大学農学部の佐々木邦博先生にお話しいただきます。パネルディスカッションでは、砺波・武蔵野・安曇野のそれぞれの方々から緑に対する保全・育成の現状や市民として今後活動すべき役割について話し合われます。

主 催: 屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

後 援: 長野県・安曇野市・松本地域景観協議会・松本地域景観育成サポーター運営会議・
 安曇野環境市民ネットワーク・(一社)長野県建築士会

問合せ先: 安曇野市商工観光部観光交流促進課 Tel.0263-71-2000(代表) Fax.72-1340



安曇野の屋敷林

安曇野の屋敷林は雄大な北アルプスを背景に、田園風景となじみこの地域特有な景観を形成しています。特に5月の水鏡の田園に映る景色は安曇野そのものです。富山県の砺波平野の屋敷林と違い、集落を形成し連続しかつ神社などの森と一体化しているのも特徴です。それは歴史的まちなみをも構成しています。

屋敷林とは屋敷の周囲に意図的に植えられた樹木群です。先人はこの屋敷林に目的をもってつくりました。まさに屋敷林は生活に密着していたのです。たとえば北西方向には北アルプスからの冷たい風を防ぐため常緑の杉・ヒノキで防風林を造りました。また女の子が生まれると嫁入りのため桐の木を植える習慣がありタンスにしたものでした。ケヤキは落葉のため比較的南東に植えました。時には建材とし、また燃料でもあり柿・梅は食料としても植えられました。人のためだけではなく、鳥や昆虫の生活の場でもあります。緑はCO2を吸収し地球温暖化防止にも貢献しています。安曇野の屋敷林は樹種の種類がおおいのも特徴です。安曇野は扇状地のため水が地下にしみ込み農業のために多くの堰が造られました。水は人の生活のため不可欠であり、水の豊かさは屋敷林にもおきな影響を与えています。安曇野の屋敷林は先人の美意識と機能の表徴であり数百年を掛けてつくられた時代の証人でもあります。

しかし現在ではその本来の機能は技術進歩や生活の変化により必要とはされず、落ち葉の処理・日照・維持費などを考えると時代の変化にともない切れ消え去る危機も秘めています。安曇野市の旧5町村を中心に特に屋敷林の残っている場所の調査を進めてきました。緑にあふれたすばらしい環境を維持することの大変さとこの地域の風景・景観として大きな貢献を屋敷林が背負っていることに気づきます。屋敷林を安曇野の財産として今後残し保全していくためには、市民意識の啓蒙や資金面での助成や保全の仕組みが必要だと思えます。安曇野の屋敷林の保全は、歴史的景観や安曇野のシンボルと市民のプライドの継承でもあります。

活動の経過

- 平成15年 高見沢松本地方事務所長のよびかけで、松本平の屋敷林の調査が始まる。景観サポーターとしては松本グループと安曇野グループができその後5年間現地調査をしてきました。
- 平成16年 松本地方事務所管内で屋敷林登録制度が開始された。
- 平成20年 4月 安曇野で活動する「屋敷林グループ」と「景観まちづくりグループ」が統合され「まちづくりネット安曇野」が誕生。
- 平成20年 6月16日 安曇野ブランドデザイン会議内に「屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト」が創立「まちづくりネット安曇野」のメンバーが主体で活動を続けている。
- 平成21年 1月14日 砺波の屋敷林研修
- 平成21年11月 7日 第1回 全国屋敷林サミット IN 安曇野 通算①
- 平成22年10月23日 全国散居村サミット IN 砺波 参加
- 平成23年 3月15日 安曇野の屋敷林 発刊
- 平成23年10月 6日 散居村サミット IN 奥州 参加
- 平成23年10月 9日 安曇野屋敷林フォーラム 2011 通算② 屋敷林サポーター募集開始
- 平成23年10月31日 「安曇野の屋敷林」地域発元気づくり支援金 松本地方事務所長表彰
- 平成24年10月 6日 砺波の屋敷林研修
- 平成25年 3月31日 安曇野屋敷林フォーラム 2013 通算③ 「屋敷林と民家」
- 平成25年11月23日 落葉ひろいボランティア 松岡宅
- 平成26年 2月22日 安曇野屋敷林フォーラム 2014 通算④ 「身近にできる緑化」
- 平成27年 3月21日 安曇野屋敷林フォーラム 2015 通算⑤ 「安曇野・砺波・武蔵野から発信する屋敷林の未来」
- 平成27年11月13日 武蔵野市に屋敷林視察
- 平成27年11月28日 落葉ひろいボランティア 中沢宅
- 平成28年 3月19日 安曇野屋敷林フォーラム 2016 通算⑥ 「武蔵野 都市緑化への思い」
- 平成28年 9月22～23日 砺波市の屋敷林研修
- 平成28年11月23日 落葉ひろいボランティア 曾根原家 住宅